MO ディスクドライブ

MOAT シリーズ

ユーザーズマニュアル

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... ↘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

・本書では、製品名を「MOAT」と表記しています。

■ 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。
本書では™、®、©などのマークは記載していません。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。

■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。
また、本製品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などにつきましては、上記にかかわらず弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全に行ってください。

■ 本製品は日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外で使用した場合の運用結果につきましては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
また弊社は、本製品に関して海外での保守および技術サポートは行っておりません。

■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易管理法の規定により戦略物資等(または役務)に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可(または役務取引許可)が必要です。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△ ⃠ ● の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告・注意を促す内容を示します。（例：⚠ 感電注意）
	してはいけない事項（禁止事項）を示します。（例：分解禁止）
	しなければならない行為を示します。（例：プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

禁 止

パソコンの使用直後は、パソコン内部の部品に手を触れないでください。

特にCPUやVGAチップが高温になっており、手を触れるとやけどをする恐れがあります。パソコンの電源スイッチをOFFにした後、30分以上たってから作業することをおすすめします。

強 制

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカおよび周辺機器メーカが提示する警告・注意指示に従ってください。

分解禁止

本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。

火災や感電の恐れがあります。

強 制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする恐れがあります。

禁止

濡れた手で本製品に触れないでください。

電源プラグがACコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、ACコンセントに接続されていなくても本製品の故障の原因となります。

電源プラグを抜く

本製品の取り付け／取り外しをするときは、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、電源プラグをACコンセントから抜いてください。

電源プラグがコンセントに接続されたまま、取り付け／取り外しを行うと、感電および故障の原因となります。

強制

イジェクトピンは、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。

本製品に付属するイジェクトピンは、小さなお子様の手の届かないところに置き、使用後は放置せずに直ちに片付けるようにしてください。目をついたり飲み込んだりして、けがをする恐れがあります。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにパソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。

弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁止

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。

弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、パソコンの電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。

弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電・故障する恐れがあります。

強制

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

禁止

レーザー光線を直視しないでください。

ディスク挿入口を開けて中をのぞいたり、本製品を分解しないでください。
レーザー光が目に入ると視覚に障害を及ぼす恐れがあります。

注意

強制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損させる恐れがあります。

強制

各接続コネクタのチリ・ほこり等は、取りのぞいてください。
各接続コネクタには手を触れないでください。

故障の原因となります。

強制

パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各マニュアルをよく読んで、各メーカの定める手順に従ってください。

パソコンおよび周辺機器の電源スイッチがONの状態で、SCSIインターフェースケーブルの抜き差しをしないでください。
本製品および周辺機器の故障の原因となります。

強制

本製品の取り付け／取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のすべてのデータをMOディスクやフロッピーディスク等にバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。データが消失、破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

禁止

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

・強い磁界、静電気が発生するところ
・温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
・ほこりの多いところ
　故障の原因となります。
・振動が発生するところ
　けが、故障、破損の原因となります。
・平らでないところ
　転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
・直射日光が当たるところ
・火気の周辺、または熱気のこもるところ
　故障や変形の原因となります。
・漏電、漏水の危険があるところ
　故障や感電の原因となります。

禁止

ディスク挿入口に、MOディスク以外のものを挿入しないでください。

MOディスク以外のもの（フロッピーディスクなど）を挿入すると、故障や火災の原因となります。

禁止

MOディスクを入れたままパソコンを移動しないでください。

本製品の動作中または、MOディスクを本製品に入れた状態で、パソコンを移動しないでください。

MOディスク、本製品に損傷を与える恐れがあります。パソコンを移動する場合は、必ずMOディスクを取り出し、電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

禁止

MOディスクを途中まで入れた状態で放置しないでください。

本製品内部にほこりが入り、故障の原因となります。

禁止

ひびわれや変形、補修したMOディスクは使用しないでください。

本製品内部で砕けて、けがや故障の恐れがあります。

MOディスクは下記の点に注意して大切にお使いください。

- MOディスクのシャッターをあけて、ディスクに直接触れないでください。汚れたり、傷がつくとデータが読めなくなります。
- MOディスクを分解しないでください。
- 衝撃を与えないでください。
- 強い磁場の場所に置いたり、近づけたりしないでください。
  データに悪影響をおよぼす場合があります。
- ほこりなどにさらさないでください。
- 直射日光を当てないでください。
- MOディスクのクリーニングを行ってください。
  MOディスクの表面に、ほこりやたばこの煙などが付着し、MOディスクが正常に動作できなくなることがあります。市販のMOディスククリーニングキットを使って、定期的にクリーニングを行ってください。
- MOディスクにラベルを貼るときは、ラベルの貼付位置からはみださないように、しっかりと密着させて貼ってください。
  ラベルの一部がはみだしたり、浮き上がっている状態でMOドライブに挿入すると、ラベルがドライブ内部で剥がれ、MOディスクが取り出せなくなることがあります。

市販のレンズクリーナーを使用しないでください。

市販のレンズクリーナーを使用すると、レンズ部に損傷を与える恐れがあります。レンズ部は、ほこりが入らない構造になっていますので、レンズのクリーニングは必要ありません。

本製品の上に物を置かないでください。

傷がついたり、故障の原因となります。

シンナー・ベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。

本製品のよごれは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

アクセスランプが点灯している間は、パソコンの電源スイッチをOFFにしたり、システムをリセットしないでください。

データを消失・破損する恐れがあります。

MOディスク内のデータおよびパソコン内のデータ（ハードディスク等）は、必ず他のメディア（フロッピーディスク、MOディスク等）にバックアップしてください。

とくに、修復・再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前・更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。以下のような場合に、データが消失または破損する恐れがあります。

- 誤った使い方をしたとき
- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 故障、修理などのとき
- パソコンの電源スイッチをOFFにした直後に、すぐに電源スイッチをONにしたとき
- 天災による被害を受けたとき

上記の場合、またその他いかなる場合でも、データが消失・破損したことによる損害は、弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

目次

1 はじめに

MOATを使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。

特長

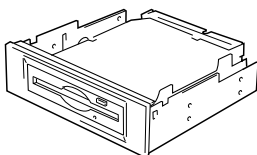
● ダイレクトオーバーライト方式（DOW）に対応
オーバーライト（OW）対応のMOディスクでダイレクトオーバーライト方式による高速書き込みが可能です。

● 1.3GBのMOディスクを使用可能（MOAT-1300FBのみ）
従来の128/230/540/640MBのMOディスクに加え、大容量1.3GBのMOディスクが使用可能です。

● 高速回転
MOAT-1300FBのMOディスク回転速度は、1.3GBのMOディスク使用時には3214rpm、640MB以下のMOディスク使用時には4558rpmです。
MOAT-640FBのMOディスク回転速度は3600rpmです。

パッケージの内容

パッケージには次の物が梱包されています。万一、不足している物がありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なることがあります。

●MOAT（本体）........................1台

●5型ファイルベイ取付金具.............1個

※ 出荷時はMOAT本体に取り付けられています。MOATを3.5型ファイルベイに取り付けるときは外してください。

●取り付けネジ........................4本

●イジェクトピン......................1本

●フロッピーディスク
「MOATシリーズユーティリティディスク」...1枚

●ユーザーズマニュアル（本書）.........1冊

●MOディスク（未フォーマット）............1枚

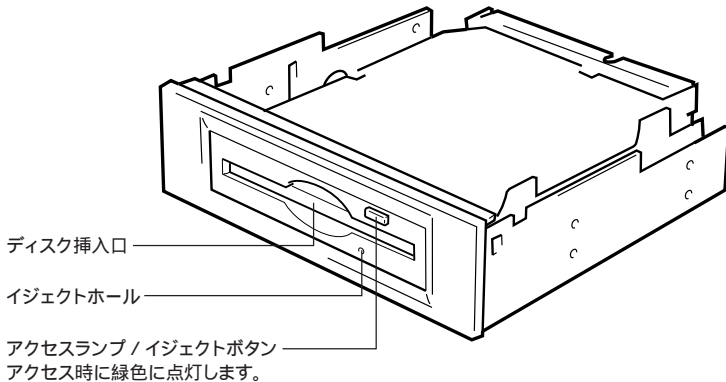
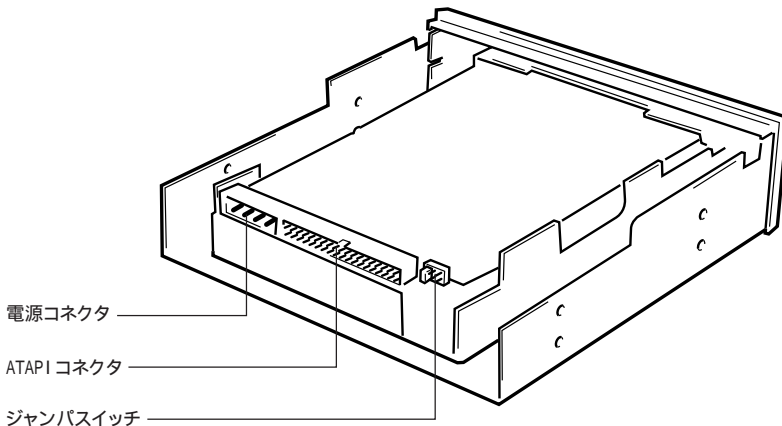
※ MOAT-1300FBには1.3GB、MOAT-640FBには640MBのMOディスクが付属しています。

●保証書、ユーザー登録はがき..........1枚

※ ユーザー登録はがきは保証書を切り離した後、必要事項をご記入の上、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は大切に保管してください。

※ 別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

各部の名称

● 前面

● 背面

WindowsNT4.0をお使いの方へ

WindowsNT4.0でMOATを使用するには、Service Pack 3以降がインストールされている必要があります。次の手順でバージョンを確認してください。

1 **[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックします。**

2 **マイコンピュータのメニューから[ヘルプ(H)]をクリックします。**

3 **[バージョン表示(A)]をクリックします。**

4 **「Version 4.0 (Build 1381: Sevice Pack 3)」と表示されます。**
下線部がバージョン番号です。バージョン番号が3以上であることを確認してください。

2 セットアップ

MOAT のセットアップ手順を説明しています。

セットアップのながれ

MOAT のセットアップ手順は次のとおりです。

パソコン→周辺機器の順に電源スイッチをOFFにする

▼

MOATのジャンパスイッチを設定する【P9】

▼

MOATをパソコンに取り付ける ・3.5型ファイルベイに取り付ける ...【P11】 ・5型ファイルベイに取り付ける .....【P12】

▼

周辺機器→パソコンの順に電源スイッチをONにする

▼

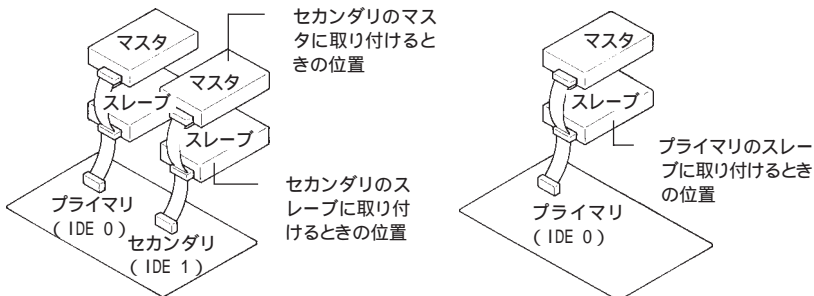
付属のユーティリティをインストールする【P13】 ※ フロッピーディスクに収録されている「MO ユーティリティ」をインストールすると、自動的にドライバもインストールされます。必ずインストールしてください。

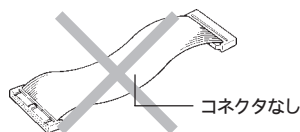
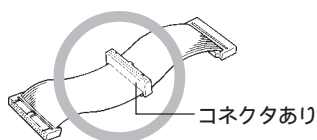
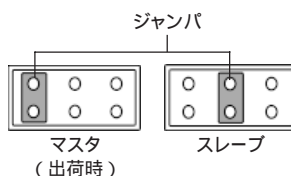
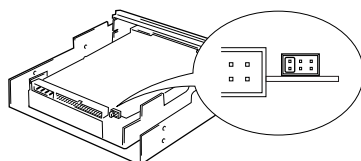
ジャンパスイッチの設定

●取り付ける位置

通常、プライマリのマスタにはハードディスクが接続されています。そのため、MOATは下図①～③のいずれかの位置に取り付けます。マスタ／スレーブはジャンパスイッチで設定します。【P10「接続のしかたとジャンパスイッチの設定」】を参照して適切な設定にしてください。

※ MOAT のジャンパスイッチは、出荷時に" マスタ "に設定されています。

2
セットアップ

●接続について

MOATをスレーブとして接続する場合は、下図の①のような形状のフラットケーブルが必要です。
パソコン本体付属のフラットケーブルが②のような形状の場合や、パソコン本体にフラットケーブルが付属していない場合は、弊社製IDE接続ケーブルDKV-I（別売）を使用してください。

●接続のしかたとジャンパスイッチの設定

使用環境		プライマリ(IDE 0)		セカンダリ(IDE 1)		MOATのジャンパスイッチ設定
他のIDE機器	MOAT	マスタ	スレーブ	マスタ	スレーブ	
1台	1台		MOAT	ー	ー	スレーブ
			ー	MOAT	ー	マスタ
2台	1台		MOAT		ー	スレーブ
				MOAT	ー	マスタ
			ー		MOAT	スレーブ
3台	1台				MOAT	スレーブ

（網掛け）：他のIDE機器が接続されている
ー　：IDE機器が接続されていない

⚠注意
- 通常、プライマリのマスタにはハードディスクを接続します。MOAT1台だけを接続して使用することはできません。
- セカンダリにMOAT1台だけを接続するときは、必ずマスタに設定してください（出荷時はマスタに設定されています）。
- MOATはハードディスクが接続されていないフラットケーブルに接続することをおすすめします。MOATとハードディスクを同じフラットケーブルに接続すると、パソコンの動作が不安定になることがあります。
- IDE機器は次の順でパソコンに認識されます。
  　プライマリ・マスタ→プライマリ・スレーブ→セカンダリ・マスタ→セカンダリ・スレーブ
  MOATはCD-ROMドライブより後に認識されるように取り付けてください。
  CD-ROMドライブより先にMOATが認識されると、CD-ROM（再セットアップ用CD-ROMなど）から起動できなくなることがあります。
- NEC PC98-NXシリーズではMOATを2台以上接続しないでください。

パソコンへの取り付け

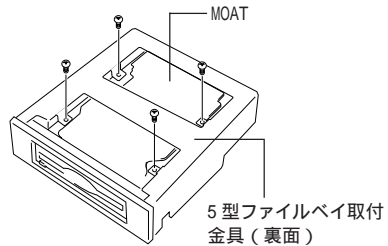
MOATは、パソコンの3.5型ファイルベイや5型ファイルベイに取り付けられます。
事前にMOATのジャンパスイッチの設定をしておいてください。【P9】

⚠注意 ここで解説している手順は一例です。取り付けの際は、必ずパソコンのマニュアルも参照してください。

パソコンへの取り付け手順は、取り付けるファイルベイの種類によって異なります。

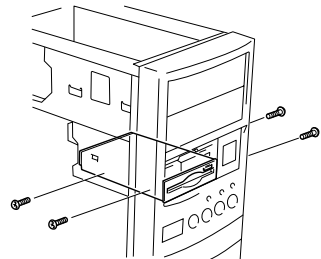
3.5型ファイルベイへの取り付け

1 MOAT裏面のネジを外し、5型ファイルベイ取付金具を取り外します。

取り外したネジと5型ファイルベイ取付金具は大切に保管してください。

2 パソコン→周辺機器の順に電源スイッチをOFFにします。

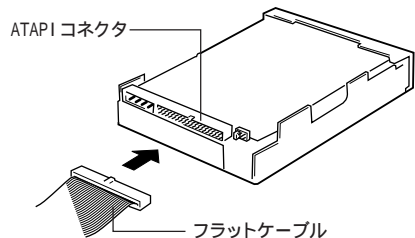
3 パソコンのカバーとケーブル類を取り外します。

詳しい方法は、パソコンのマニュアルを参照してください。

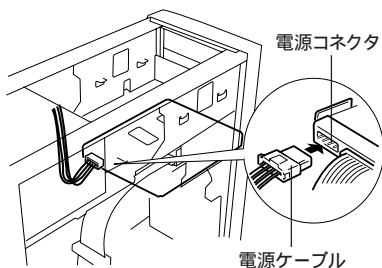
⚠注意 電源ケーブルは必ず取り外してください。

4 3.5型ファイルベイにMOATを挿入し、付属の取り付けネジ（4本）で固定します。

メモ パソコンによっては、3.5型ファイルベイのネジ穴が2つしかないものがあります。その場合は、付属の取り付けネジ（2本）で固定してください。

5 パソコン側に付属のフラットケーブルをMOATに接続します。

- フラットケーブルのコネクタの突起と、MOATのATAPIコネクタの切り欠きを合わせてください。
- パソコンにIDE機器接続用のフラットケーブルが付属していないときは、別売の弊社製IDE接続ケーブルDKV-Iをお使いください。
- ジャンパスイッチの設定と、フラットケーブルの接続が正しいか確認してください。【P9】

次のページへ続く

6 **MOATの電源コネクタに、パソコン側の電源ケーブルを接続します。**

コネクタの向きに注意してください。

7 **パソコンのカバーを取り付け、ケーブル類と周辺機器を元どおり接続します。**

以上でMOATの取り付けは完了です。

次へ MOユーティリティをインストールします。【P13】

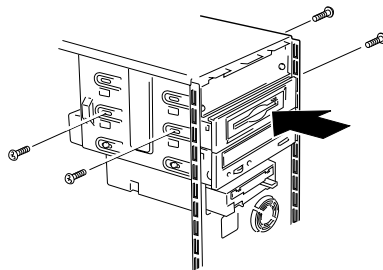
5型ファイルベイへの取り付け

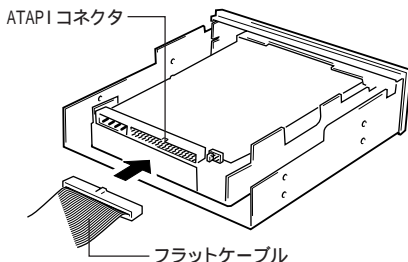
1 **パソコン→周辺機器の順に電源スイッチをOFFにします。**

2 **パソコンのカバーとケーブル類を取り外します。**

詳しい方法は、パソコンのマニュアルを参照してください。

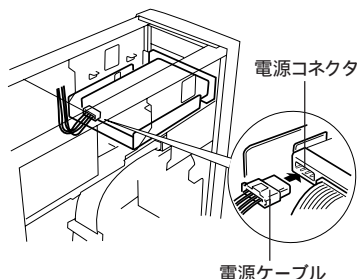
⚠注意 **電源ケーブルは必ず取り外してください。**

3 **5型ファイルベイにMOATを挿入し、付属の取り付けネジ(4本)で固定します。**

4 **パソコン側に付属のフラットケーブルをMOATに接続します。**

- フラットケーブルのコネクタの突起と、MOATのATAPIコネクタの切り欠きを合わせてください。
- パソコンにIDE機器接続用のフラットケーブルが付属していないときは、別売の弊社製IDE接続ケーブルDKV-Iをお使いください。
- ジャンパスイッチの設定と、フラットケーブルの接続が正しいか確認してください。【P9】

次のページへ続く

5 **MOATの電源コネクタに、パソコン側の電源ケーブルを接続します。**

コネクタの向きに注意してください。

6 **パソコンのカバーを取り付け、ケーブル類および周辺機器を元どおり接続します。**

以上でMOATの取り付けは完了です。

次へ MOユーティリティをインストールします。【P13】

MO ユーティリティのインストール

MOユーティリティは、MOATを使用するためには必要なソフトウェアです。必ずインストールしてください。

注意事項

- インストールを実行する前に、MOATをパソコンに取り付けてください。
- OSをアップグレードする場合は、事前にMOユーティリティをアンインストールしてください。【P24】
- Windows2000、WindowsNT4.0にMOユーティリティをインストールする場合は、必ず管理者として権限を持つ(administrator)ログオン名でログオンしてください。
- 起動しているアプリケーションはすべて終了してください。
- 必ず「MOATシリーズユーティリティディスク」はバックアップを作成してください。
  作成方法は、各OSのマニュアルやオンラインヘルプを参照してください。
  「MOATシリーズユーティリティディスク」は大切に保管し、インストール作業にはバックアップディスクを使用してください。
- CyberTrio-NXがインストールされているPC98-NXシリーズでは、CyberTrio-NXをアドバンストモードに設定してください。
  アドバンストモード以外のモードで使用していると、インストールできないことがあります。
  CyberTrio-NXの設定方法については、パソコン本体のマニュアルを参照してください。

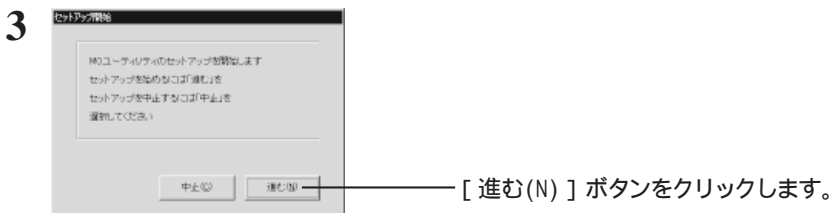
インストール

1　付属の「MOATシリーズユーティリティディスク」をフロッピーディスクドライブに挿入します。

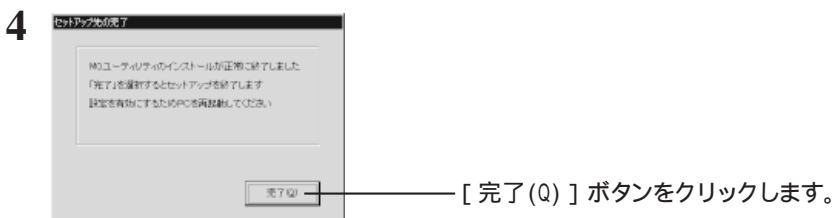
2　[スタート] － [ファイル名を指定して実行(R)] を選択します。
[名前(O)] にA:\SETUP.EXEと入力し、[OK] ボタンをクリックします。

下線部にはフロッピーディスクドライブのドライブ名を入力します。

3

[進む(N)] ボタンをクリックします。

MOユーティリティはC:\Program Files\MELCO\MELMOにインストールされます。
（下線部はWindowsがインストールされているドライブ名です。）

4

[完了(Q)] ボタンをクリックします。

5　「MOATシリーズユーティリティディスク」をフロッピーディスクドライブから取り出し、パソコンを再起動します。

正しくインストールされると [MO　ユーティリティ] グループが作成され、[MOフォーマット]、[アンインストーラ]、[MOコピー] (*)、[ダストシュート] (*) のショートカットアイコンが登録されます。

* [MOコピー]、[ダストシュート] はWindowsMe/98/95専用のユーティリティです。Windows2000/NT4.0ではインストールされません。

3 MOATの使いかた

使用時の注意

● MOディスクの初期化について
MOディスクは、使用する前に初期化(フォーマット)する必要があります。本製品にはMOディスクをフォーマットするためのプログラムが添付されています。【P17】

● MOATのアクセスランプが点灯しているときは、パソコンからアクセスしないでください。
MOATの準備ができていないため、アクセスエラーが発生します。

● MOディスクにアクセスしているとき(アクセスランプが点灯しているとき)は、絶対にイジェクトボタンを押さないでください。
MOディスク内のデータが破損するおそれがあります。

● MOディスクにアクセスしているときにスタンバイ/休止状態に切り換える操作(例:[スタート]-[Windowsの終了]-[スタンバイ])をしないでください。
MOディスク内のデータが破損するおそれがあります。

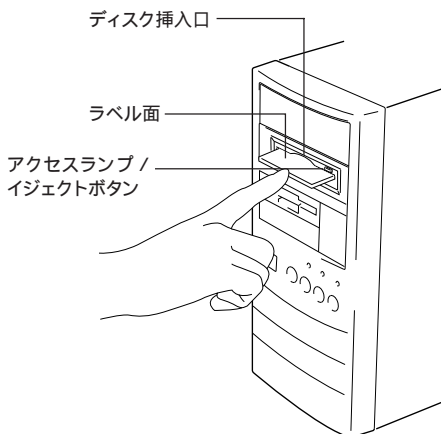
● MOディスクにラベルを貼るときは、指定の位置からはみ出さないようにしてください。
MOAT内でラベルがはがれると、MOディスクが取り出せなくなることがあります。
取り出せなくなったときは無理に取り出そうとせず、そのまま弊社修理センターまで修理をご依頼ください。【P29】

● Windows95でMOディスクにバックアップするときの注意
Windows95付属のバックアップツールを使用してMOディスクにバックアップするときは、バックアップするデータの総容量がMOディスクの容量を超えないようにしてください。MOディスクの容量を超えたデータはバックアップできません(これはバックアップツールの仕様によるものです)。

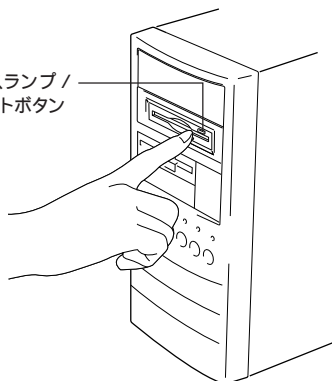
MOディスクの挿入

MOディスクのラベル面を上に向け、ディスク挿入口に挿入します。

正しく挿入されると、アクセスランプが緑色で3~4秒間点灯します。

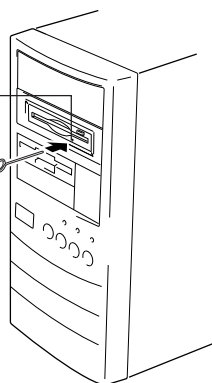
⚠注意 **パソコンからMOディスクへのアクセスは、アクセスランプが消えてから行ってください。アクセスランプの点灯中は、MOディスクにアクセスできません。**

MOディスクの取り出し

MOATのアクセスランプが消えていることを確認し、イジェクトボタンを押します。

MOディスクが2〜3cm出てきたら、MOディスクを手で取り出します。

MOディスクが取り出せないとき

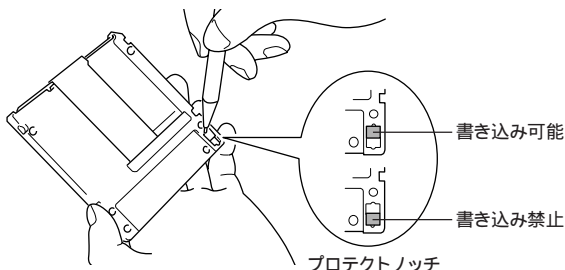
停電などによってMOディスクがMOATに入ったままパソコンの電源が切れてしまうと、イジェクトボタンを押してもMOディスクが排出されなくなってしまいます。

その場合は、付属のイジェクトピンをイジェクトホールに差し込み、強制的にMOディスクを排出してください。

⚠注意　この操作は、必ずパソコン本体の電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

MOディスクを書き込み禁止にするとき

MOディスクに記録したデータを誤って消去してしまわないように、MOディスクへの書き込みを禁止できます。

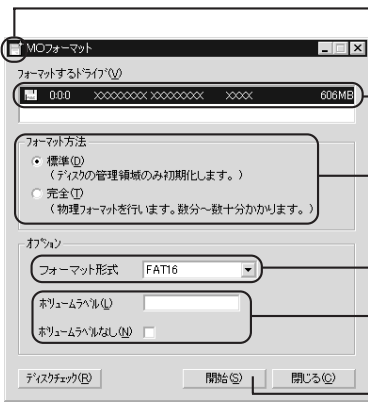
ボールペンなどを使って、MOディスクの背面にある「プロテクトノッチ」を書き込み禁止の位置に移動させてください。

再度データを書き込むときは、プロテクトノッチを書き込み許可の位置に移動させます。

4 MOディスクのフォーマット

MOAT にセットした MO ディスクをフォーマットする方法を説明します。
※ フォーマットとは、MOディスクなどの記憶メディアをパソコンで使用できるように処理（初期化）することです。

フォーマット時の注意

- Windowsには標準でフォーマッタが添付されていますが、フォーマット形式によっては認識できなくなったり、異なるOS間でMOディスクを共有して使用する場合に互換性による問題が生じることがあります。MOディスクをフォーマットするときは、インストールされたフォーマッタ「MOフォーマット」を使用してください。
- WindowsNT4.0のフォーマット機能でフォーマットされたMOディスクは、使用できません。
  必ずMOフォーマットでフォーマットしてください。読み書きできなくなったMOディスクは、MOフォーマットでフォーマットすることで使用できるようになります。
- MOフォーマットを起動する前に開いているフォルダをすべて閉じてください。他のアプリケーション（エクスプローラなど）が起動しているときは終了してください。
- MOディスクに記載されている容量は、1MB＝1,000²byteで計算されています。
  ただし、Windows上でフォーマットするときやプロパティでMOディスクの容量を確認するときは、1MB＝1,024²byteで計算されるため、表示される容量が異なります。
- MOディスクによっては、フォーマットに数十分かかるものがあります。
  MOATの動作が停止しているように思われても、アクセスランプが点灯または点滅している間はフォーマットしています。そのままフォーマットが終わるまで待ってください。
- MOフォーマットを使用すると、MOディスク内のデータは全て消去されます。大切なデータを必ずバックアップしてからフォーマットしてください。
- MOフォーマットではパーティションを作成できません。また、リムーバブルメディア以外（ハードディスクなど）のフォーマットもできません。
- 本製品以外でのMOフォーマットの使用は、弊社では保証しておりません。
- Windows2000でNTFSフォーマットしたMOディスクは、Windows2000/NT4.0以外のOSでは使用しないでください。
- Windows2000でNTFS形式でフォーマットしたMOディスクを書き込み禁止にした場合、書き込みだけでなく読み出しもできません。
- MOフォーマットでは、NTFS形式のフォーマットはできません。
- FAT32フォーマットされたMOディスクは、Windows Me/98、Windows95（4.00.950 B/4.00.950 C）、Windows2000でのみ使用できます。
- MOフォーマットの起動中は、エクスプローラや［マイ コンピュータ］からMOディスクの内容を見ないでください。
  見ようとすると、「ファイルシステムエラーです」というエラーメッセージが表示されます。その場合はMOフォーマットを終了し、再度エクスプローラや［マイ コンピュータ］からMOディスクの内容を見てください。
- MOフォーマットでフォーマットされたMOディスクをWindows2000のフォーマット機能で再フォーマットする場合は、いったんNTFSでフォーマットし、その後、希望のファイルフォーマットに変更してください。

フォーマット手順

次の手順でMOディスクをフォーマットします。

⚠注意
- フォーマットすると、MOディスク内のデータはすべて消去されます。フォーマットする前に、消去してもよいデータか必ず確認してください。
- フォーマット中はマウスやキーボード、電源スイッチ、リセットスイッチの操作を一切行わないでください。
- MOフォーマットは、他のアプリケーション（エクスプローラなど）をすべて終了してから操作してください。

1 **フォーマットしたいMOディスクをMOATに挿入し、[スタート]－[プログラム(P)]－[MOユーティリティ]－[MOフォーマット]を選択します。**

MOフォーマットが起動します。

2

ここをクリックして［バージョン情報(A)］を選択すると、MOフォーマットのバージョン情報が表示されます。

① フォーマットするMOドライブ（MOAT）を選択します。

② フォーマット方法を選択します。

③ フォーマット形式を選択します。

④ 必要に応じてボリュームラベルを入力します（最大半角英字11文字）。

⑤［開始(S)］ボタンをクリックします。

・ドライブ情報 ....

MOドライブの名称　MOディスクの容量

・フォーマット方法 .... [標準]： 論理フォーマットのみ行います（通常はこちらを選択します）。
[完全]： 物理フォーマットを行い、その後に論理フォーマットを行います。

・フォーマット形式 .... [FAT16]と[FAT32]が選択できます。
※ FAT32フォーマットされたMOディスクは、WindowsMe/98、Windows95（4.00.950 B/4.00.950 C）、Windows2000/NT4.0でのみ使用できます。

・[ディスクチェック]ボタン ..... 表示内容を更新します。
MOフォーマットを起動した後にMOディスクを挿入した場合や、MOディスクを入れ替えた場合にクリックします。

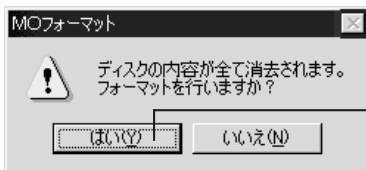
次のページへ続く

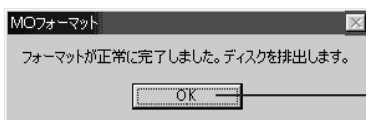
フォーマット方法で［完全］を選択している場合

「物理フォーマットは数分から数十分を要します。（以下略）」というメッセージが表示されます。物理フォーマットしてもよければ、［はい(Y)］ボタンをクリックします。

物理フォーマット中は経過時間が表示されます。

⚠注意
- 物理フォーマット中に［強制終了(X)］ボタンをクリックすると、物理フォーマットは中断されますが、Windowsの動作が不安定になります。その場合は、パソコンを再起動してください。
- お使いの環境によっては、経過時間の表示が進まないことがあります。MOATのアクセスランプが点灯していれば物理フォーマットは動作していますので、完了のメッセージが表示されるまでお待ちください。
- 何らかの理由により物理フォーマットを中断したMOディスクは再度物理フォーマットを必ず行ってください。
  物理フォーマットを中断したMOディスクは論理フォーマットを行うことにより、使用できるように見えますが、読み書きに失敗してデータを失う可能性があります。

3

⚠注意 フォーマット中はマウスやキーボード、電源スイッチ、リセットスイッチの操作を一切行わないでください。

4

フォーマットが完了し、MOディスクが排出されます。

5 **MOフォーマットの［閉じる(C)］ボタンをクリックします。**

MOフォーマットが終了します。

4
MOディスクのフォーマット

5 付録

MOディスク間のコピー(WindowsMe/98/95のみ)

本製品付属の「MOコピー」を使用すれば、1台のMOドライブで、MOディスク間のコピーが簡単にできます。

使用時の注意

- コピーは同じ容量のMOディスク間でだけ行えます。コピー元とコピー先のMOディスクの容量が異なる場合はコピーできません。
  例) ・コピーできる
  640MBのMOディスク→640MBのMOディスク
  ・コピーできない
  230MBのMOディスク→640MBのMOディスク

  メモ Windows標準のディスクコピー機能は、MOディスク間のコピーには対応していません。

- ハードディスクドライブを経由してデータをコピーするため、コピーするMOディスクの容量以上の空き容量が1台のハードディスクに必要です。
- ファイルフォーマットがFAT16形式のMOディスクを使用している場合にだけ、高速でコピーできます。
- MOコピーの起動中は、エクスプローラや[マイ コンピュータ]からMOディスクの内容を見ないでください。
  見ようとすると、「ファイルシステムエラーです」というエラーメッセージが表示されます。その場合はMOコピーを終了し、再度エクスプローラや[マイ コンピュータ]からMOディスクの内容を見てください。
- 本製品以外でのMOコピーの使用は、弊社では保証しておりません。

コピー手順

MOコピーは、他のアプリケーション(エクスプローラなど)をすべて終了してから操作してください。

1 [スタート]－[プログラム(P)]－[MO ユーティリティ]－[MOコピー]を選択します。

2

① コピーに使用するMOドライブ(MOAT)を選択します。

② [開始(S)] ボタンをクリックします。

次のページへ続く

メモ パーシャルコピー機能について

［パーシャルコピー機能を使用する(P)］のチェックマーク（✓）を付けた状態（初期状態）で［開始(S)］ボタンをクリックすると、ファイルデータだけがコピーされます。そのため、コピーにかかる時間が短くなります。

チェックマークを外した場合、コピー元のMOディスク内にあるすべての情報がコピーされます。

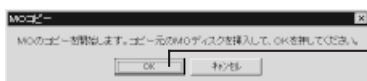
パーシャルコピー機能は、次のMOディスクをコピー元としたときに使用できます。

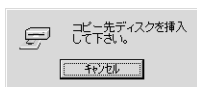
・本製品付属の「MOフォーマット」でFAT16形式フォーマットしたMOディスク

次のMOディスクをコピー元にした場合、パーシャルコピーはできませんので、チェックマークは外してください。

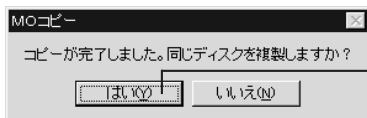
・「MOフォーマット」以外のフォーマッタでフォーマットされたMOディスク
・FAT16形式以外のフォーマット形式（FAT32やNTFSなど）のMOディスク
・Macintoshフォーマット（HFSなど）のMOディスク

3 コピー元のMOディスクをMOATにセットします。

4

［OK］ボタンをクリックします。

5

コピー先のMOディスクをMOATにセットします。

自動的にMOディスクが検出され、ファイルがコピーされます。

6

同じ内容をさらに別のMOディスクにコピーするときは［はい(Y)］ボタンをクリックします。MOコピーを終了するときは［いいえ(N)］ボタンをクリックします。

以上でコピーは完了です。

5
付録

MO ディスク内のファイルの削除（WindowsMe/98/95 のみ）

**本製品付属の「ダストシュート」を使用すれば、MO ディスク内のファイルを完全に削除できます。
ダストシュートで削除したファイルは、ファイル復旧ユーティリティや DOSのUndeleteコマンドでも復旧できないため、機密データの削除に最適です。**

メモ Windows上の操作で削除したファイルは、ファイル復旧ユーティリティやDOSのUndeleteコマンドで復旧できることがあります。

制限事項

● ダストシュートで削除したファイルは、ファイル復旧ユーティリティや DOS の Undelete コマンドでは復旧できません。
必要なデータは絶対にダストシュートでは削除しないでください。

● ダストシュートはファイルフォーマットが FAT16/32 形式の MO ディスクの場合にだけ使用できます。

● フォルダを削除することはできません。

● ダストシュートで削除できるのは MO ディスク内のファイルだけです。
ハードディスクドライブなど他のメディア内のファイルは削除できません。

● ダストシュートによるデータの削除後もファイル名の痕跡だけは残ります。
ファイルの実体は残りません。

● 本製品以外でのダストシュートの使用は、弊社では保証しておりません。

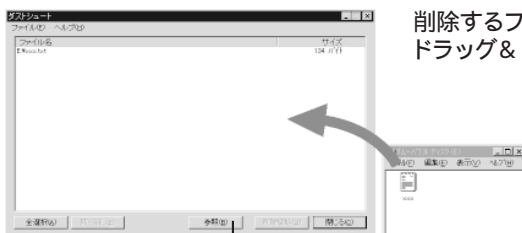
削除手順

1　［スタート］－［プログラム(P)］－［MO ユーティリティ］－［ダストシュート］を選択します。

デスクトップ画面上の［ダストシュート］アイコンをダブルクリックしても起動できます。

2　削除したいファイルの入った MO ディスクを MOAT に挿入します。

3

削除するファイルをダストシュートの画面にドラッグ＆ドロップします。

［参照(B)］ボタンをクリックして、削除するファイルを選択することもできます。

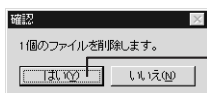
次のページへ続く

4

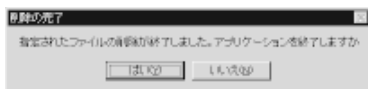
① 削除するファイルを選択して反転表示にします。

② ［削除開始(D)］ボタンをクリックします。

複数のファイルを削除するときは、［全選択(A)］ボタンをクリックしてすべてのファイルを選択してから［削除開始(D)］ボタンをクリックします。また、<Shift>キーまたは<Ctrl>キーを押しながらマウスをクリックして、複数のファイルを選択することもできます。

5

［はい(Y)］ ボタンをクリックします。

ファイルが削除されます。

6

さらに他のファイルを削除するときは［いいえ(N)］ボタンを、ダストシュートを終了するときは［はい(Y)］ボタンをクリックします。

以上でファイルの削除は完了です。

メモ 上記の手順以外にも、次の方法でダストシュートによるファイルの削除ができます。

※ 次の方法の場合、削除するファイルが下の方の階層にあると、同時に複数のファイルを削除できないことがあります。その場合は、複数回に分けてファイルを削除してください。

＜方法1＞

① エクスプローラや［マイ コンピュータ］でMOディスクの内容を表示し、削除したいファイルを右クリックします。
② 表示されたメニューから［送る(N)］－［ダストシュート］を選択します。
③ 「...個のファイルを削除します」と表示されたら、［はい(Y)］ボタンをクリックします。
④ 「指定されたファイルの削除が終了しました」と表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。

＜方法2＞

① デスクトップ画面上の［ダストシュート］アイコンに、MOディスク内の削除したいファイルをドラッグ&ドロップします。
② 「...個のファイルを削除します」と表示されたら、［はい(Y)］ボタンをクリックします。
③ 「指定されたファイルの削除が終了しました」と表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。

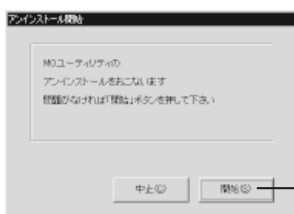
5
付録

MO ユーティリティのアンインストール

MOAT付属のMOユーティリティが不要になったときは、次の手順でアンインストールしてください。

1 **[スタート] ─ [プログラム(P)] ─ [MO ユーティリティ] ─ 「アンインストーラ] の順に選択します。**

2

3

以上でアンインストールは完了です。

困ったときは

MOATが認識されない(ドライブアイコンが表示されない)

ATAPIケーブルがMOATやパソコンに正しく接続されているか確認してください。

MO ディスクに書き込めない

MOディスクのプロテクトノッチが書き込み禁止になっていないか確認してください。プロテクトノッチを書き込み許可の位置にしてください。

アクセス時に「ドライブの準備ができていません」というメッセージが表示される

MOディスクが正しくMOATに挿入されているか確認してください。

MOディスクの挿入後、アクセスランプが点灯している間はドライブは準備中です。アクセスランプが消えてから操作を行ってください。

MO ディスクが取り出せない

MOドライブのプロパティ画面で、[挿入の自動通知(U)](Windows95の場合は[自動挿入])の設定を変更した方は、Windowsを終了して必ずパソコンの電源スイッチをOFFにしてください。

再起動しただけでは、イジェクトボタンを押してもMOディスクは取り出せません。

パワーランプが消灯しているときは、イジェクトボタン/アクセスランプを押してもMOディスクは排出されません。

「MOディスクが取り出せないとき」【P16】を参照して、強制的にMOディスクを取り出してください。

5 付録

空き容量はあるが MO ディスクにファイルをコピーできない

FAT16形式でフォーマットされたMOディスクの場合、ルートディレクトリに記録できるファイルの数には上限があります(ロングファイル名のファイルがない場合に最大512個)。

そのため、MOディスクに空き容量があるにもかかわらずファイルがコピーできない場合は、ルートディレクトリにあるファイルを1つ削除してフォルダを作成してください。その後、そのフォルダ内にファイルをコピーしてください。

物理フォーマットに失敗する

- MOディスクに傷、汚れなどがあり、物理的に損傷している可能性があります。
- ALiチップセットを搭載した一部のパソコン(*)(Windows95モデル)においてOSの問題により物理フォーマットに失敗することがあります。

  物理フォーマットを行う場合はWindows98以降へのアップグレードを行ってください。

  ※2000年10月現在、現象が確認されたパソコン

  ・IBM　Aptiva　Eシリーズ(2137-Exx)のWindows95モデル

製品仕様

製品型番	MOAT-1300FB	MOAT-640FB
インターフェース	ATAPI	
ディスク	3.5型光磁気ディスクカートリッジ(ISO規格)	
記憶容量	128/230/540/640MB、1.3GB	128/230/540/640MB
ダイレクトオーバーライト方式	対応（オーバーライト対応MOディスク使用時）	
ディスク回転数	3214rpm（*1）	3600rpm
平均シークタイム	23msec	
平均回転待ち時間	9.3msec（*1）	8.3msec
最大転送速度	16.6MB/sec(PIOモード4、マルチワードDMAモード2動作時）	
バッファメモリ容量	2MB	
外形寸法（ドライブのみ）	102（W）×26(H)×150（D）mm	
平均消費電力（リードライト時）	5.3W	
電源電圧	5V ±5%	
動作環境 温度	5～35℃	
動作環境 湿度	20～80%（結露無きこと）	
対応パソコン機種	Enhanced IDEインターフェースを搭載する以下のパソコン ・DOS/V機（OADG仕様） ・NEC PC98-NXシリーズ（*2）	
対応OS	WindowsMe、Windows98（*3）、Windows95（*3）、Windows2000、WindowsNT4.0（Service Pack 3以降）	

***1　1.3GBのMOディスクを使用している場合の数値です。128/230/540/640MBのMOディスクを使用している場合のディスク回転数は4558rpm、平均回転待ち時間は6.6msecとなります。**

***2　5型ファイルベイにだけ取り付けられます。**

***3　DOSモードでは使用できません。**

※ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)をご参照ください。

■保証書について

本製品付属の保証書には保証期間と保証規定が記載されています。内容をお確かめになり、大切に保管してください。

■ ユーザー登録について

ユーザー登録はがきに必要事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとして登録いたします。

※ 本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。
※ ユーザー登録後に製品を譲渡した場合、ユーザー登録は変更できません。

■ 修理について

製品をお送りいただく前に、マニュアルを参照して設定や接続が正しいかを再度ご確認ください。正しく接続や設定をしても症状が改善されない場合は、修理票と保証書の原本に必要事項をご記入の上、製品と一緒にお送りください。修理票は、弊社ホームページ（本書裏表紙参照）にてダウンロード可能です。修理票の添付が困難な場合は、以下の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付して製品をお送りください。

① 返送先 ［氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号］
② 平日昼間の連絡先
［氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号］
③ 修理対象のメルコ製品名
④ 弊社製品ハードウェア シリアルナンバー
⑤ 弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー
⑥ 具体的な症状/エラーメッセージ
⑦ 発生状況 ［始めから/ある日突然/環境を変えたら］
⑧ 発生頻度 ［必ず/頻繁/時々/時間が経つと、他］
⑨ コンピュータ ［本体メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑩ ハードディスク ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑪ ディスプレイ ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑫ その他周辺機器 ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑬ OS(オペレーティング・システム)
［ソフト名/メーカ名/バージョン］
⑭ 製品以外の添付品 ［付属ソフトなど］

製品送付先	〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 株式会社メルコ 修理センター宛
電話番号	052-619-1289

※ ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。製品に関するお問い合わせはインフォメーションセンター（裏表紙に記載）へお願いします。
※ 宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断りいたします。
※ 送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
※ 修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。
※ ハードディスクをお送りいただいた場合、そのハードディスクはフォーマットいたします。必要なデータは事前にバックアップを作成しておいてください。
※ 修理期間は、製品の到着後7日程度（弊社営業日数）を予定しております。

MOATシリーズ ユーザーズマニュアル

2000年10月5日 初版発行
発行　　株式会社メルコ

弊社製品の情報は次の方法で入手できます

http://www.melcoinc.co.jp/

MELCO Station <GO SMELCO>

インフォメーションセンター

〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15　株式会社メルコ ハイテクセンター内

本製品のサポートは下記で承っております。

ストレージ製品専用ダイヤル

＜東　京＞ 03-5350-7990

月〜金 9:30〜12:00/13:00〜19:00　※祝日を除く
土/祝 9:30〜12:00/13:00〜17:00　※日曜日を除く

＜名古屋＞ 052-619-1188

月〜金 9:30〜12:00/13:00〜17:00　※祝日を除く

※事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください。
- ・コンピュータ名と使用OS
- ・本製品の製品名とシリアルナンバー
- ・現象（具体的なエラーメッセージなど）